

桧沢川河川災害復旧助成事業について

平成27年9月9日から11日にかけて台風18号から変わった低気圧に流れ込む南よりの風、後には台風第17号の周辺から南東風が主体となり、湿った空気が流れ込み続けた影響で、多数の線状降水帯が次々と発生し、関東地方と東北地方では記録的な大雨となりました。

桧沢川流域内に位置する針生観測所では、降りはじめからの総雨量303mm、最大24時間雨量267mm、最大時間雨量46mm(9月10日1:00~2:00)を記録しました。この雨により、桧沢川周辺では堤防決壊による浸水等、甚大な被害が発生しました。

このため、平成28年3月に桧沢川河川災害復旧助成事業の認可を受け、川幅を最大で約34m拡幅し、河川の流下能力を向上させることで河川の氾濫を防ぎ、地域の方々が安全で安心できる川づくりを目指して復旧と改修を行っています。

事業は延長7,920mで平成27年度から工事に着手し、現在は河道拡幅工、護岸工、床止工などを鋭意施工しています。進捗率は平成30年3月時点で約73%となっており、引き続き、全力で早期復旧に向け取り組んでいきます。

